

## 平成13年度業務報告

平成13年度の事業につきましては、先に決定された平成13年度事業計画にもとづき、次のとおり実施しましたのでご報告します。

本連盟の会員数は、別表1のとおり、平成14年3月7日現在、正員96,206名、家族会員5,434名、准員496名の合計102,136名となっており、引き続き減少しております。

このような状況のなかで、JARLではアマチュア無線の活性化と会員増強をはかるため、新世紀を記念した21世紀ドリームアワードの発行、アマチュア無線のデジタル化技術D-STAR実験研究などを行い、アマチュア無線の楽しみの多様化および新技術の開拓に取り組んでまいりました。

また、財政改善の取組みとして組織および事業運営の簡素合理化をはかるため、地方本部、支部ならびに監査指導体制の見直しなど、定款改正の施行を含む新体制への切替えを実施しました。また、バンド防衛をはじめ電力線搬送通信(PLC)など新しい通信利用分野から生じる電波障害の未然防止に積極的に努め、アマチュア無線の権益の擁護および会員事業の安定した継続が行えるよう努力しております。

### 1. アマチュアバンドの拡充と防衛

- (1) 平成13年6月4日から7日まで、タイのバンコクでアジア太平洋通信共同体(APT)のWR C-03準備会合(APG2003-2)に出席し、バンドの拡充・防衛などに努めました。
- (2) 平成13年10月22日から30日まで、スイス、ジュネーブのITU本部において、アマチュア業務およびアマチュア衛星業務を所管する無線通信部門(ITU-R)の第8研究委員会(SG8)の関連会合である第8A作業部会(WP8A)が開催されこれに出席し、バンドの拡充・防衛などに努めました。
- (3) 電力線搬送通信(PLC)実用化の調査検討が行われていることからその測定実験などを行い、アマチュア無線への受信障害が懸念されていることに対し積極的な対応をはかっています。
- (4) そのほか、ローバンドの国際的な整合性の推進、また、2.4GHz帯など需要が急増しているマイクロ波帯の周波数防衛などについても、総務省に働きかけるとともに関係の会議などにも出席し、周波数の確保に努力しています。

### 2. アマチュア無線制度の改善

- (1) 平成14年3月22日、国際宇宙ステーション(ISS)に開設するアマチュア

- 局と通信を行う特例として、無線従事者資格を持っていない小中学生でも一定の条件のもとに通信を行うことが出来るよう、制度が改正されました。
- (2) 電信試験速度の諸外国との格差是正，免許情報の公開，諸外国との相互運用の促進や包括免許などアマチュア無線制度の改善に関して，総務省に要望などを行いました。
  - (3) アマチュア無線の操作範囲等を定めている「無線従事者の操作の範囲等を定める政令」等が廃止され，新たに「電波法施行令」が平成13年7月25日に施行されました。

### 3. アマチュア無線活動の育成強化

- (1) 各支部において，上級資格の国家試験受験のための指導講習会のほか，アマチュア無線に関する各種講演会，研究会などを開催しました。
- (2) モールス電信技能認定を，平成13年8月のハムフェア2001会場(パシフィコ横浜)および平成14年2月に連盟事務局において実施しました。認定数と免状交付数は，別表2のとおりです。
- (3) コンテストについては，別表3のとおり7種類のコンテストを実施したほか，地方本部や支部主催によるコンテストを多数実施しました。

なお，平成14年度から国内コンテストについても電話部門を新設することなど規約改正を決定し，あわせて，ドナー制度およびコンテスト・アワードの導入をはかることにしました。
- (4) 情報通信の普及・振興をはかることを目的とした「情報通信月間」の行事に協賛して「第9回テレコムQSOパーティー」などを実施しました。
- (5) アワード発行については，「JARL21世紀ドリームアワード」を含め，別表4のとおり，国内アマチュア局3,607枚，SWL50枚，海外アマチュア局168枚の合計3,825枚を発行し，このほかWACアワードの代行申請を124件行いました。

なお，DXCCフィールドチェックは，平成13年度はハムフェアおよび関西ハムフェアでのチェックを含み427件の申請を受け付けました。

- (6) レピータ局およびビーコン局を，別表5のとおり開設・運用しました。
- (7) 特別記念局などを別表6のとおり開設し運用しました。
- (8) 2001アマチュア無線フェスティバル(ハムフェア2001)の開催  
2001アマチュア無線フェスティバルは，平成13年8月31日～9月2日の3日間，横浜市の「パシフィコ横浜」において開催しました。「21世紀の扉を開けようアマチュア無線」をキャッチフレーズに「アマチュア無線とデジタル」，「非常通信で社会貢献」をテーマにし，これまでのハムフェアになかったデジタル通信の開発や，公共機関などによる非常災害時の対応の展示などの企画も注目を集め，会期中の来場者は延べ35,000人にのぼりました。
- (9) ARDF競技  
平成13年10月14日，新潟県北蒲原郡黒川村で「2001全日本ARDF競技

大会」を開催しました。全国各地から143名の選手が参加しました。

地方A R D F 競技大会を別表7のとおり、また、A R D F 競技大会審判員講習会を全国各地で開催しました。

また、A R D F ハンドブックを作成頒布し、A R D F 競技の普及に努めました。

#### (10) 技術関係

アマチュア無線のデジタル化推進プロジェクトであるD-S T A R についての検討と、実験局(中継局2局、端末局22局)を開設して通信実験を行いました。

マイクロ波活性化の資料とするため、マイクロ波局名録を制作・頒布しました。

自作機器の測定サービスや、電話などによる技術相談を受け付けました。

### 4. 会員事業の充実と会員の増強

#### (1) 会員サービスの充実

コールサイン・准員番号等を刻印したJ A R L カードを導入し、約1年半経過いたしました。平成14年3月31日現在のJ A R L カード発行枚数は、8,966枚となりました。

アマチュア無線機器総合保険(アンテナ第三者賠償責任保険ほか3種類)の取り扱いやJ A R L 会員ホテル宿泊割引制度、パッケージ旅行割引制度など、引き続いて会員特典の充実に努力いたしました。

J A R L W e b における会員サービス機能の検討を行い、利便性のあるサービスが提供できるよう、システム内容の充実をはかりました。

J A R L C O M サイトにおいて、J A R L E - m a i l 転送サービスを行ったほか、M L 提供サービス、W e b サイト提供サービスおよびアマチュア無線リンク集を前年度に引き続いて行いました。

なお、E - m a i l 転送サービス登録者数は、平成14年3月31日現在13,597件で、同M L 提供サービスが131件、同W e b サイト提供サービスが141件、同リンク集が616件となっています。

#### (2) 会員の増強

平成13年度会員増強キャンペーンを平成13年12月1日～平成14年1月31日までの2ヵ月間実施し、期間中833名の入会がありました。

Q S L ビューローに届いたQ S L カードのうち、非会員あてのカードを対象に年度内に4回の再入会依頼を実施いたしました。その結果170名が再入会しました。

会員の増加をはかるため、J A R D , J A I A , (財)日本無線協会等と協力して、アマチュア無線の普及に努めました。

- (3) Q S L ・ S W L カードの転送  
Q S L ・ S W L カードの取扱処理枚数は別表 8 のとおり，国内外合わせて約1,700万枚で前年比260万枚増加しました。
- (4) 広報活動  
J A R L N E W S ，点字 J A R L N E W S などを発行し，会員や関係の方々に配布しました。  
電子情報サービスについては，次のとおり行いました。  
(A) インターネットのホームページ「J A R L W e b 」により，各種情報の提供などを行いました。  
(B) 「J A R L W e b 」において，「T H E J A R L N E W S 」(英文)ほか，英文による各種情報の提供を行いました。  
アマチュア無線 F A X サービスにより各種の情報を提供しました。  
各種行事でのアマチュア無線 P R 用として，ビデオなどの貸出しを行いました。

## 5 . 組織および事業運営の改善

- (1) 組織の簡素合理化をはかるため平成13年7月2日，地方本部，支部および監査指導体制の組織を改正しました。
- (2) 会費前納制度の見直しについて具体案を作成し広報するとともに，理事会・評議員会において検討しましたが，まず新規の前納受付けを停止するため，規則改正を総会に諮ることにしました。なお，引き続き会員各位からのご意見等をもとに，幅広く改善を検討していくことにしました。
- (3) Q S L カード発送時の郵便料金大口割引制度の利用や，宅配便を利用した Q S L カードの発送により，引き続き転送経費の削減に努めました。
- (4) J A R L N E W S については，年度内3回の合併号の発行や，記事の一部を「J A R L W e b 」に掲載するなどし，経費の削減に努めました。
- (5) A R D F の外部委託について，具体化を検討しました。

## 6 . 監査指導活動の推進

- (1) アマチュア局からの電波障害対策依頼への対応を行いました。
- (2) アマチュア無線が原因で障害を受けている一般の方々からの電波障害対策依頼への対応を行いました。
- (3) ガイダンス局（特別業務の局）により，使用区分を逸脱（レピータ，衛星周波数を含む）している局，呼出符号の送出が全くない局および業務通信を行っている局に対して注意を喚起する広報を行いました。
- (4) アマチュア局の運用指導，電波障害防止対策の指導などを実施しました。

- (5) HF帯の侵入電波の調査を、監査指導委員および会員の協力を得て実施し、定期的に総務省、IARUなどの関係機関に報告しました。
- (6) 不法局対策に関して、総合通信局と打ち合わせを行うとともに、その実施を要望しました。また、バンド使用区分の周知用パンフレットを配布し、使用区分の順守、呼出符号の送出手などについてPRしました。
- (7) 受信環境クリーン協議会と連携して、TVI、テレホンIなどの防止のPRに努めました。

## 7. アマチュア衛星等の利用の促進

- (1) 「ふじ3号(F0-29)」、「ふじ2号(F0-20)」の機能の調整を行うとともに、全世界のアマチュア無線家に利用してもらうため、管理運用を行いました。
- (2) 国際宇宙ステーションに開設が予定されているアマチュア局についての国際会議に出席し、情報の収集等に努めました。

## 8. 国際協力の推進

- (1) 平成13年5月4日から6日まで、オランダのノルドワイクで、ARISS(国際宇宙ステーション内のアマチュア無線局の設備を開発・運用するためのプログラム)に関する規約の制定などを行う国際会議が開催され、JARL職員1名が日本代表として出席しました。
- (2) 平成13年8月23日から28日まで、IARU第3地域ARDF大会がモンゴルのウランバートル市で開催され、JA9AG吉井裕理事を団長に選手団を派遣しました。
- (3) 平成13年8月31日から9月2日まで、神奈川県横浜市のパシフィコ横浜で開催されたハムフェア2001に、中国無線電運動協会(CRSA)の青少年が来日し、アマチュア無線についての理解を深めました。
- (4) 平成13年8月30日から9月1日まで、IARU第3地域理事会が横浜ランドマークタワー内会議室で開催され、出席者はハムフェア2001を視察し、開会式とアイボールQSOパーティーに参加しました。
- (5) 平成13年9月25日、中国江蘇省無線電運動協会の訪日団10名が愛知県瀬戸市で9月23日に開催されたARDF東海大会に参加した後、日本のアマチュア無線の視察を目的としてJARLを訪問し、展示室と衛星管制室などを視察しました。
- (6) 平成13年10月29日、中国無線電運動協会(CRSA)の趙明宇会長がJARLを来訪、将来のアマチュア無線について意見交換を行い、展示室と衛星管制室などを視察しました。
- (7) IARU第3地域事務局を引き続きJARL事務局内に設置しました。
- (8) IARU第3地域に対し、引き続き侵入電波監視報告を毎月行いました。
- (9) IARU第3地域の国際ビーコンプロジェクトを継続して行いました。

- (10) 来日した外国アマチュア無線団体首脳や関係者と意見交換を行い，友好を深めました。

## 9．非常災害時の体制整備

- (1) H F 帯を使った非常通信訓練を平成13年9月に実施しました。  
(2) 非常通信ボランティアを，継続して募集しました。  
(3) 非常通信協議会との連携をはかるとともに，地方公共団体などとの非常通信に関する具体的な連携をはかりました。  
(4) 「寄附金付お年玉付郵便葉書・郵便切手に付加される寄附金の配分」を受けて非常通信用無線機器の整備を行い，ポータブルトランシーバー10台をJ A R Lの地方局に配備しました。

## 10．J A R Dとの連携

アマチュア無線の育成などの分野で，J A R Dと協力して施策の推進をはかりました。

## 11．そのほか

- (1) 理事会，評議員会，支部長連絡会をはじめ各種委員会などを，別表9のとおり開催しました。  
(2) 刊行物事業については，前年度と同様，アマチュア無線関係の申請書類などをはじめ，2002-2003年版会員局名録を出版・頒布するとともに，一部A R R L刊行図書の代理頒布を行いました。また，頒布開始後一定期間を経過し，扱い数の減少している販売品の整理を行いました。

以上のほか，小・中学校および主な構成員が身体障害者の団体が開設している社団局に助成金の交付を行ったほか，事務局組織と事務処理の合理化を推進しました。